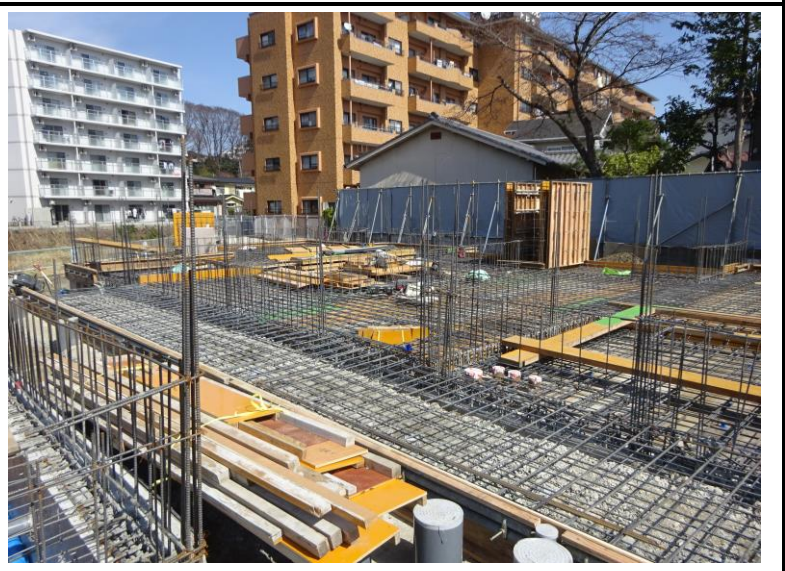


現況検査により認められる状況の記録

令和5年3月21日	
NO	1
場所	敷地
部位	全景




令和5年3月21日	
NO	2
場所	C D棟
部位	1階床面
1階床スラブの配筋（施工）状況。	

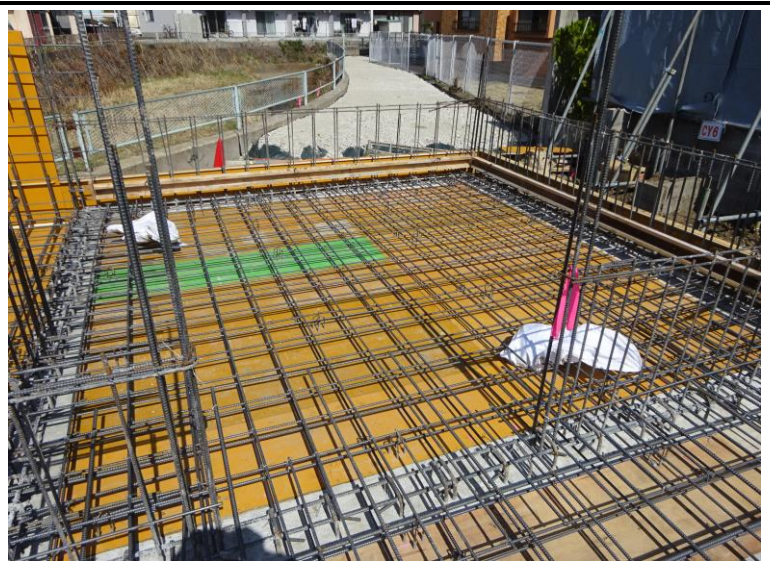



令和5年3月21日	
NO	3
場所	C D棟
部位	1階床面
同上。	

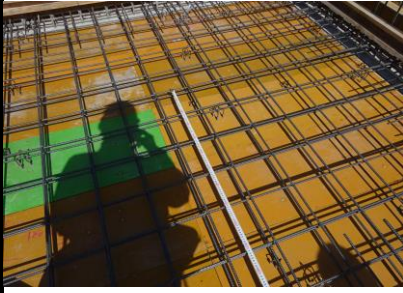
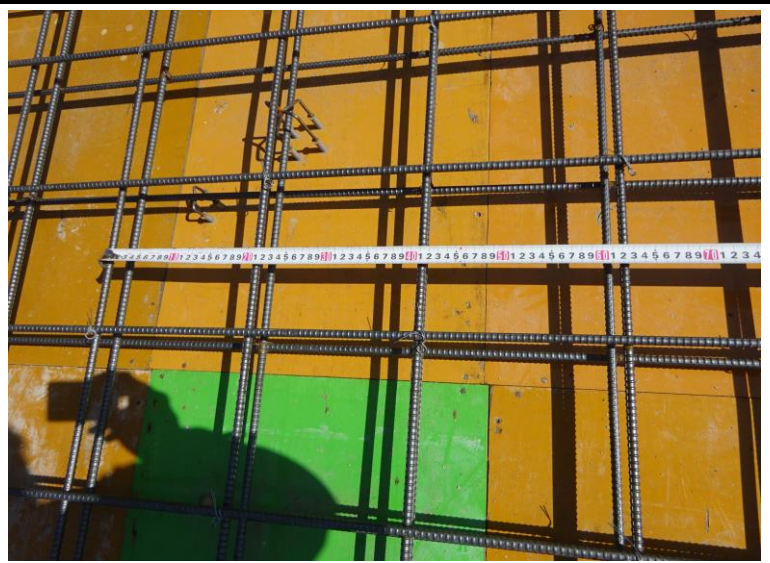



現況検査により認められる状況の記録


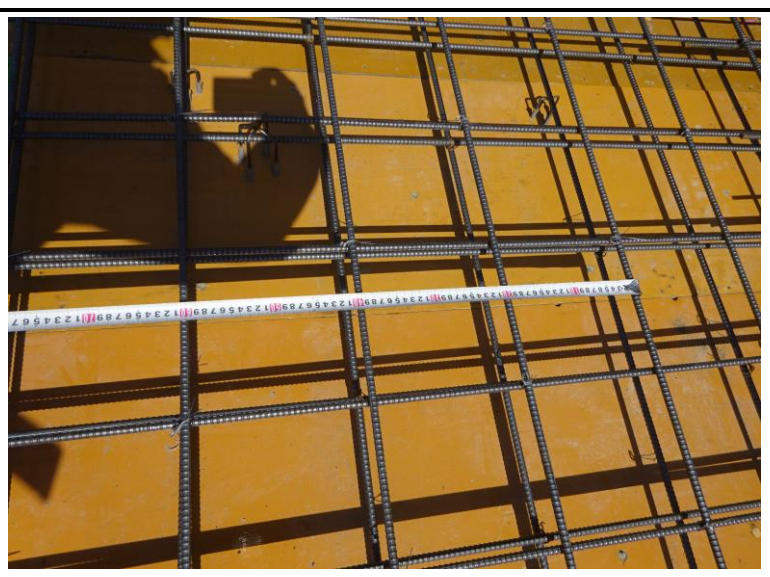
令和5年3月21日	
NO	4
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S1)
CX 2~4, CY 5~6 通りの床スラブ (S1) の配筋状況。	

令和5年3月21日	
NO	5
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S1)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。D10@200mmダブル (縦横共)	

令和5年3月21日	
NO	6
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S1)
同上。	





現況検査により認められる状況の記録


令和5年3月21日	
NO	7
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S1)
スラブ下面の鉄筋かぶり厚さ (20mm以上) が確保されるようスペーサー (下端筋用) が設置されていることを確認。	




令和5年3月21日	
NO	8
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S1)
スラブ上面の鉄筋かぶり厚さ (20mm以上)、及び、鉄筋間の空き (25mm以上) が確保されるようスペーサー (上端筋用) が設置されていることを確認。	




令和5年3月21日	
NO	9
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S1)
地中梁への先行埋設スラブ筋 (D13) との重ね継手長さ (40d : この場合は細い方の鉄筋D10×40d=400mm) が十分確保されていることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年3月21日	
NO	10
場所	CD棟 (C棟)
部位	キャンティスラブ (CS1)

計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋 (主筋：短辺方向) D10・D13@200mmチドリ



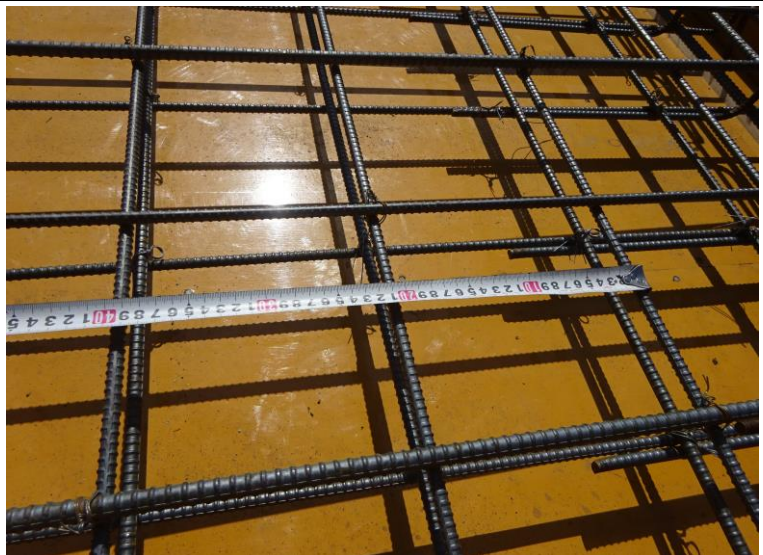
令和5年3月21日	
NO	11
場所	CD棟 (C棟)
部位	キャンティスラブ (CS1)

同上。



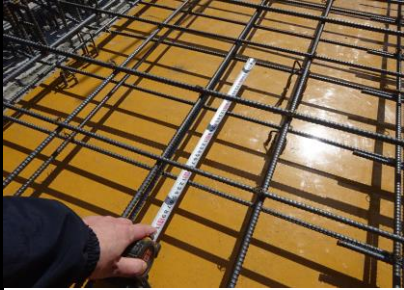
令和5年3月21日	
NO	12
場所	CD棟 (C棟)
部位	キャンティスラブ (CS1)

計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋 (配筋筋：長辺方向) D10@200mm



現況検査により認められる状況の記録

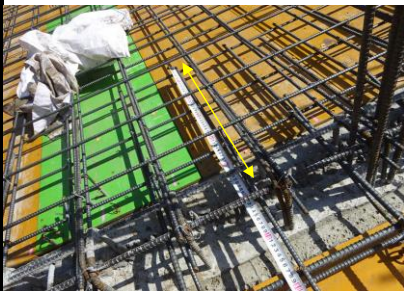
令和5年3月21日	
NO	13
場所	CD棟 (C棟)
部位	キャンティスラブ (CS1)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。下端筋 (縦横共) D10@200mm	



令和5年3月21日	
NO	14
場所	CD棟 (C棟)
部位	キャンティスラブ (CS1)
同上。	

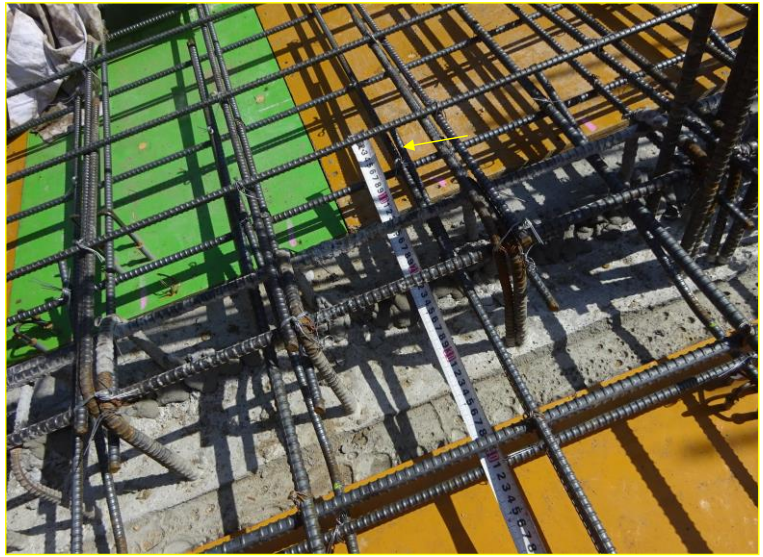


令和5年3月21日	
NO	15
場所	CD棟 (C棟)
部位	キャンティスラブ (CS1)
床スラブ (S1) への上端筋定着長さが計画 (施工図) 通り1階壁面 (基礎梁面-70 mm) より500mm以上確保されていることを確認。	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年3月21日	
NO	16
場所	CD棟 (C棟)
部位	キャンティスラブ (CS1)
床スラブ (S1) へ下端筋定着長さが計画 (施工図) 通り、L3 (D13×10d=130mm、且つ150mm) 以上確保されていることを確認。	



令和5年3月21日	
NO	17
場所	CD棟 (C棟)
部位	キャンティスラブ (CS1)
バルコニー端部の立上がり部分 (内側) の鉄筋かぶり厚さ (30mm) に不足が生じる状況であることを指摘。	

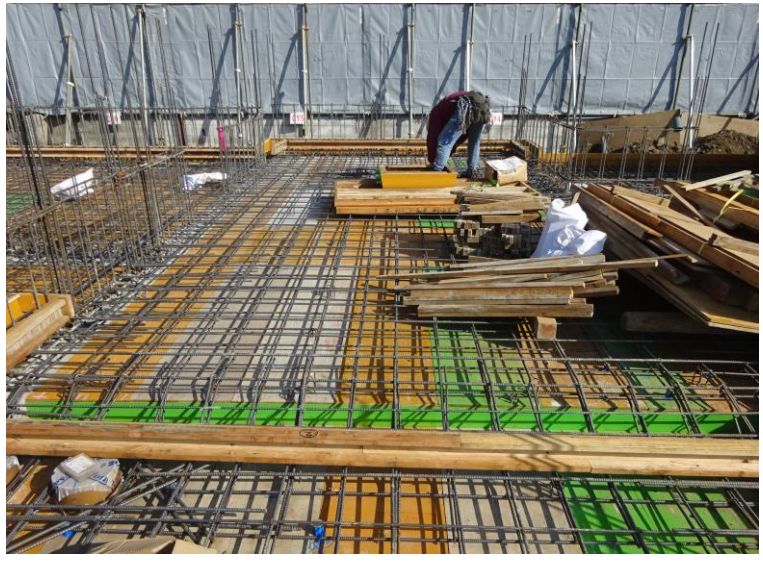


令和5年3月22日	
NO	18
場所	CD棟 (C棟)
部位	キャンティスラブ (CS1)
上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。	

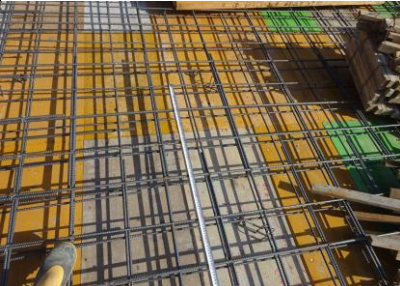
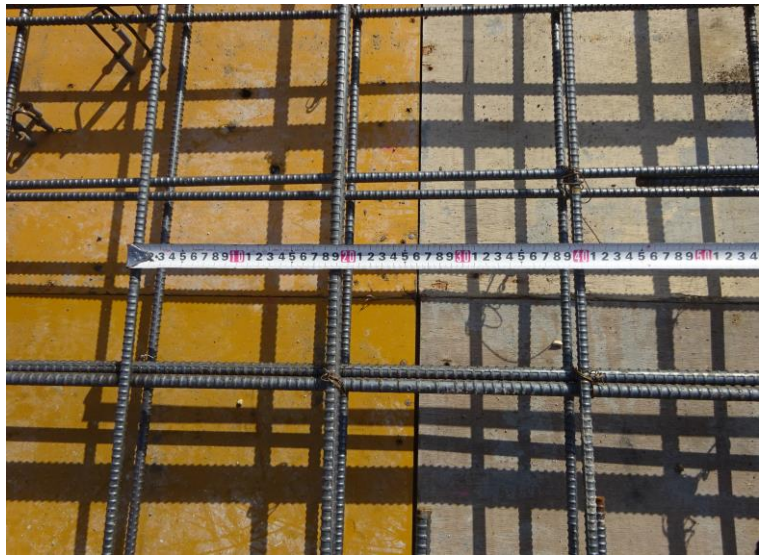


現況検査により認められる状況の記録

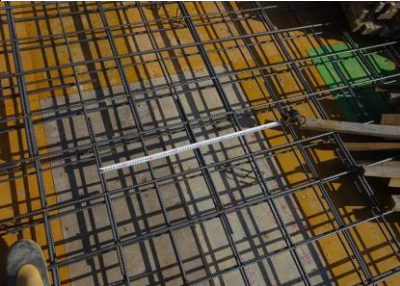
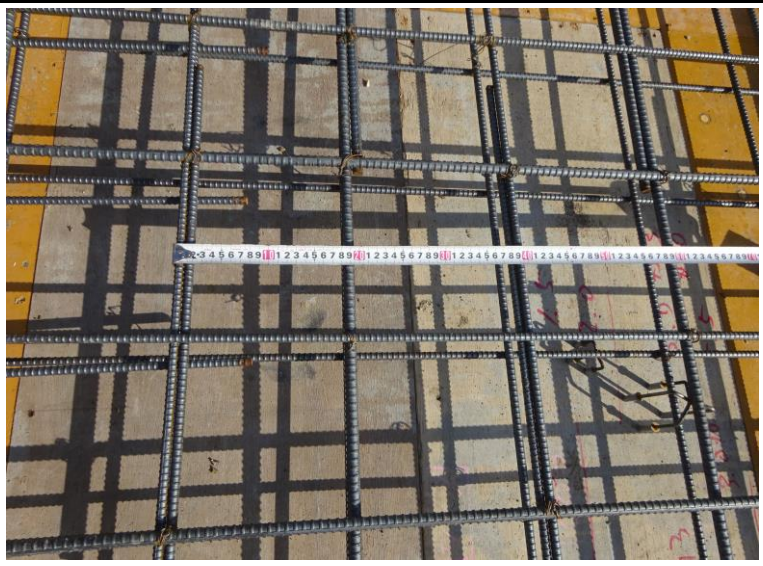
令和5年3月21日	
NO	19
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S3)
CX1~5, CY4~5通りの床スラブ (S3) の配筋状況。	

令和5年3月21日	
NO	20
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S3)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋D10・D13@200mmチドリ (縦横共)	


令和5年3月21日	
NO	21
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S3)
同上。	

現況検査により認められる状況の記録

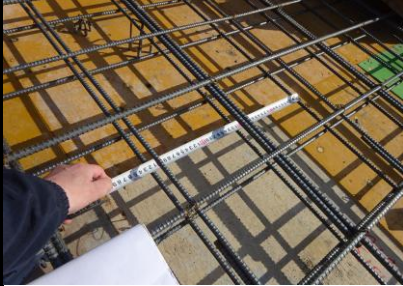
令和5年3月21日	
NO	22
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S3)

計画通りの配筋組が行われていることを確認。下端筋D10@200mm (縦横共)



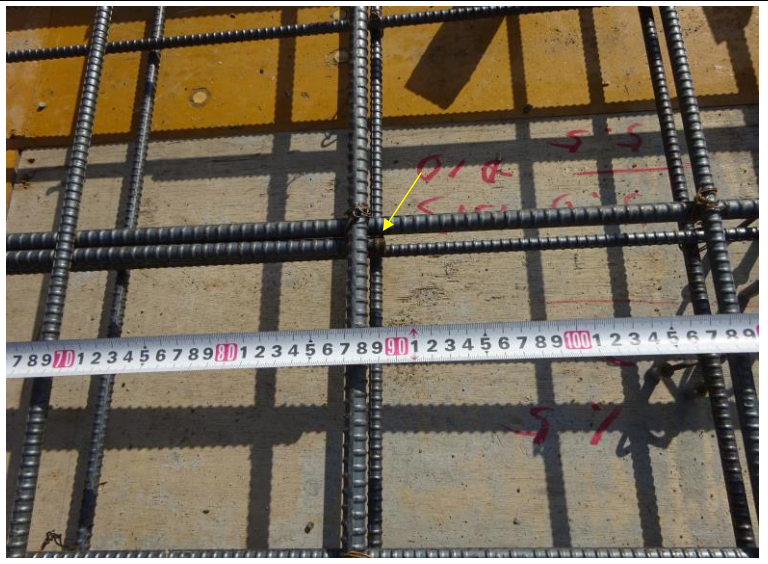

令和5年3月21日	
NO	23
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S3)

同上。




令和5年3月21日	
NO	24
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S3)

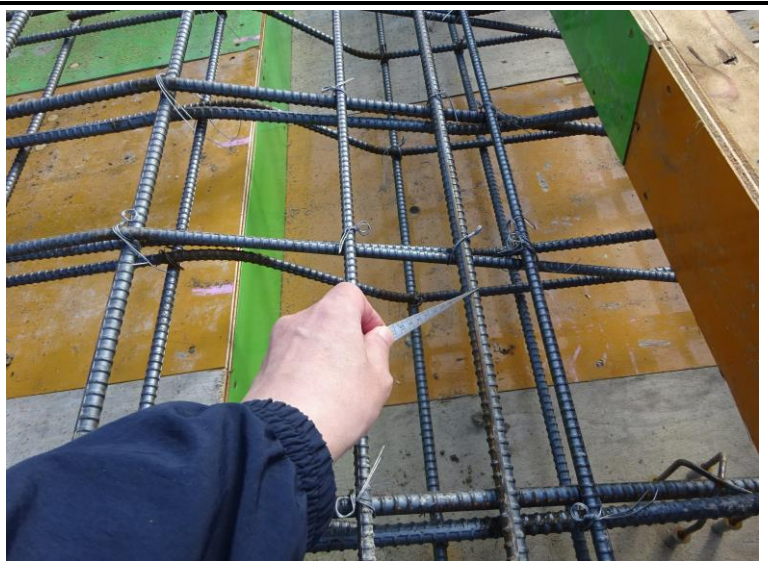
同上。重ね継手の位置は応力の小さい位置としていることを確認。また、重ね継手長さ (L1 : 40 d × D13 = 520mm) が十分に確保されていることを確認。

現況検査により認められる状況の記録


令和5年3月21日	
NO	25
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S3)

当該箇所の段差スラブ部では、補強筋 (D13) の設置位置が誤っていることその他、上端筋の配列が曖昧になっていることを指摘。

令和5年3月22日	
NO	26
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S3)

上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。




令和5年3月22日	
NO	27
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S3)

同上。上端筋 (主筋：短辺方向) の配列 (D10・D13@200mmチドリ) が整備されたことを確認。




現況検査により認められる状況の記録

令和5年3月21日	
NO	28
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S3)
ダマ穴開口補強筋が計画 (施工図) 通りに設置されていることを確認。(開口廻りの縦横: 上筋2-D13、下筋2-D13)	




令和5年3月21日	
NO	29
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S3)
同上。余長部の長さ: L1 (D13×40 d = 520mm)	




令和5年3月21日	
NO	30
場所	CD棟 (C棟)
部位	床スラブ (S3)
ダマ穴開口補強筋が計画 (施工図) 通りに設置されていることを確認。(開口廻りの斜筋: 上筋1-D13、下筋1-D13)	